

第6回大阪大学野田村サテライトセミナー 「ボランティア講座～ボランティアって何だろう?～」

2013年8月11日、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムのもと開設された「大阪大学野田村サテライト」にて、「第6回大阪大学野田村サテライトセミナー」を開催しました。今回は、大人だけでなく野田村の小中学生にもサテライトに来ていただくため、「野田村サテライトセミナー子どもコース」を行いました。子どもコース第1回目は、ボランティア講座です。「ボランティアって何だろう?」というテーマについて、大阪大学の渥美先生が子どもたちに向けて語ってくださいました。



大阪大学野田村サテライト外観



セミナーの様子

今回のセミナーには約40名が参加し、野田村内の小中学生と、岩手県立不来方高等学校の生徒、弘前大学ボランティアセンターの学生らが熱心に渥美先生のお話に耳を傾けていました。



講師の渥美先生



グループワークの様子

セミナーは渥美先生の自己紹介から始まり、ボランティアをする時の「こころ」について考えたり、4つの班に分かれてグループワークを行ったりしました。ボランティアをするときのこころは、胸の中や頭の中にあるのではなく人と人との間にある、という考えは、小学生だけでなく高校生や大学生にとっても新鮮なものでした。

グループワークでは、災害ボランティア場面で実際にあった事例をテーマにグループで話し合いました。大学生も高校生も小学生も混ざって班を作り、大学生高校生が小学生に教えながら話し合いが進みました。さまざまな意見が飛び交い、時には小学生の柔軟な発想に皆が驚かされる場面もあり、とても和やかな雰囲気でした。

ボランティア活動の定義についてのお話では、ボランティアを語るときによく使われる「自発性」や「無償性」という言葉の意味について改めて考えました。渥美先生は、「自発性」や「無償性」のような言葉にとらわれず、ボランティアをするときには「ただ傍にいること」が大切だとお話されました。



セミナーの様子



グループワークの様子

今回のセミナーは、小学生だけでなく、高校生やボランティアに関わる大学生にとっても改めて「ボランティアとは？」という問題について考えるきっかけとなりました。不來方高校の生徒からは、「今回のお話を聞いてボランティアに興味を持った。もっとボランティアについて考えたい。」という感想をいただきました。

今回のセミナーでは遠隔教育システムを使用しませんでした。今後は子どもコースにも遠隔教育システムを導入し、大阪大学の学生と野田村の子どもたちの交流の場を設けていく予定です。

前回同様、今回の「野田村サテライトセミナー子どもコース」も大変充実したものになりました。野田村サテライトセミナーでは今後も様々なコースを設け、多くの方に参加していただけるセミナーを目指します。また、サテライトに導入された遠隔教育システムを存分に活用し、サテライトでの研究・教育に参加できるシステムをさらに充実させていきます。次回は9月11日です。